



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

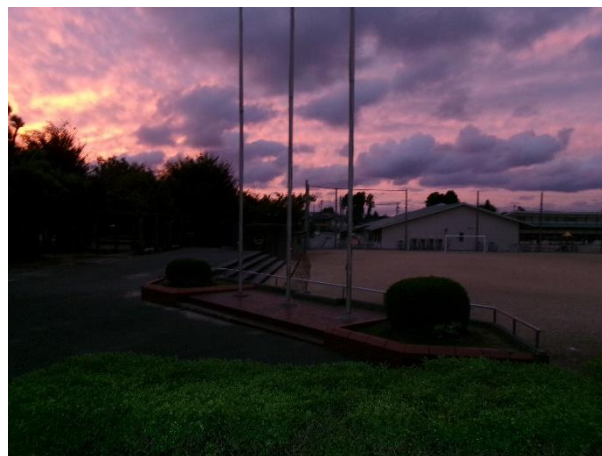
学校の様子をご覧ください。

<http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

「秋深き 隣は何を する人ぞ」 松尾芭蕉

校長 斉藤 康

少し前までは19時でも明るかったと感じていましたが、最近では暗くなる時刻が早くなってきました。秋分の日を超えていますので季節は「秋の夜長」になってきているのでしょう。私は睡眠の質を良好にしたいがために就寝の30分前頃から読書をしています。(本の内容によっては興奮して寝付きがよくないこともたまにありますが・・・)最近読んだ本の中で一番心に残っているのは大迫傑さん著書の「走って、悩んで、見つけたこと」です。大迫さんは現在もプロランナーとして活躍しておられますが、現在に至るまでの紆余曲折を振り返り、自分を客観視して綴られた本でした。私にはない考え方や視点があり、興味深かったです。走ることや子育てに関心のある方は、ぜひ読んでほしい本の一冊だと感じました。忙しい毎日を送られている皆様だと思いますが、せっかくの「秋の夜長」、新たな発見や感動が得られるかもしれません。本を読んでみませんか。



運動会のご協力、ありがとうございました



9月19日(土)の運動会当日また前日より準備、後片付けを手伝ってくださりありがとうございました。おかげでスムーズに進行することができました。またマナーを守り観覧し、応援して下さった皆様方、子供たちの励みとなったと思います。子供たちは運動会を通して何を感じたのでしょうか。お家で聞いていただけたでしょうか。兎にも角にも無事に運動会を終えることができました。これも皆様方のご協力のおかげです。ありがとうございました。

教育実習がありました

9月1日(火)から19日(土)の約3週間、大学より教育実習生が1名来ました。最初に実習生と話す機会が私にありました。その際に入善小学校の概要や学校の教育目標等を含めた教育活動全般について説明しました。その後、「教育実習に来たのはなぜ?」と聞いてみました。「子供に関わる先生になりたいからです」と答えてくれました。真剣に教師を目指す若者が減っている中(若者自体が減っているのですが・・・)

貴重な若者です。社会は様々な価値観があふれており、当然子供たちも様々です。様々な子供たち一人一人に合わせて関わることは大変なことです。それでも教師は一人一人と正対して向き合っていかなければなりません。教育実習は当然実習生の勉強の場です。しかし実習生の純粋な「子供と関わりたい」という思いや学んでいる真摯な姿から私たち教員も初心を思い出し、力をもらっている感じがしました。実習生には、念願の教師になったときに本当の教師の醍醐味を味わってほしいと思っています。



卒業式について

かなり早い気もするのですが、9月のPTA本部役員会で話題になったことです。1つは卒業生の服装についてです。卒業式は学校の教育活動の中でも一番大切な学校行事と言われています。学校行事ですので「入小っ子のやくそく」に明記してある「式服」での参加を卒業生もお願いします。また前日準備ですが、次の学年が意識を高める大切な活動であると考えます。前年度までは保護者の方々が手伝ってくださっていたと聞いています。しかし、教育的な配慮から児童たちに準備や後片付けを任せたいと思います。「卒業生をお祝いしたい」という児童たちの思いを高めるために、ご理解をよろしくお願いいたします。



【現6年生の入学式の様子】